

熱気残る静かな空間



洋画

「職員室」 今崎 順生(須崎市)

足を骨折して練習ができず将来に悩んでいた時、美術教員の勧めで油絵を描き始めた。公募展にも出品し、「絵の具の面白さと発表する楽しさを教えてもらった」と振り返る。

その後美術大に進学し、教職の道へ。意欲的に制作を続け、県展無鑑査作家の仲間入りを果たした。

「勝負の年と思って臨んだので本当にうれしい。地域とのつながりを大切に、新しい挑戦をしていきたい」

サッカー部の指導で真っ黒に日焼けした顔に鋭気がみなぎっていた。(楠瀬慶太)



「先生方の熱気の余韻が残る、誰もいない休日の静謐な空間を描きました」

美術教員として12年、12年1丁を入れ込めた」と間勤務する高知市の西 充実の作品に仕上げた。部中学校の職員室は、約50人の教職員がいる。広い一室。一番奥のホワイトボードや2列に並ぶ机や椅子を、青や白の絵筆と黒の木炭の線で描き、「職員室での経験や感じてきたイメージ

西部中サッカー部の顧問を10年間務めた文武両道の熱血漢。高校時代は大阪の強豪校のサッカー部員で、当初は美術と無縁だった。高校2年の試合で両

いまざき・よしき
1978年大阪府
東大阪市生まれ。新
制作協会協友。特選
3回で無鑑査。